COMPANY PROFILE

MOVE THE WORLD FORWARD

MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES GROUP

三菱重工エンジニアリング

エンジニアリングでつなぐ確かな未来

三菱重工グループのエンジニアリングシナジー、
三菱重工エンジニアリング株式会社が確かな技術で実現します。
化学プラント、環境プラント、交通システムなど、私たちは世界の多くの国と地域と社会の発展に
EPC（Engineering, Procurement, Construction）プロジェクトで貢献してまいります。
世界的なインフラプロジェクトをはじめ、多種多様な製品を手がける三菱重工グループで、
これまで私たちが築き上げてきたエンジニアリング力、プロジェクトでの豊富な実績の中で培った
プロジェクトマネジメント力、そして、それらをまとめ上げる経験豊富な人材、優れたシステム、強力なネットワーク。
これらの総合力を駆使して、プロジェクトの計画から基本設計、詳細設計、調達、製造、建設、試運転、
アフターサービス、そしてO&M（Operation & Maintenance）を含め、様々なお客様のご期待に応え、
快適な暮らしと豊かな社会の創造に貢献してまいります。
三菱重工エンジニアリング株式会社はエンジニアリングで確かな未来を目指します。

Mission（使命）

わたしたちは、エンジニアリングで
世界中に「快適な暮らし」と「豊かな社会」を創ります。

Vision（将来像）

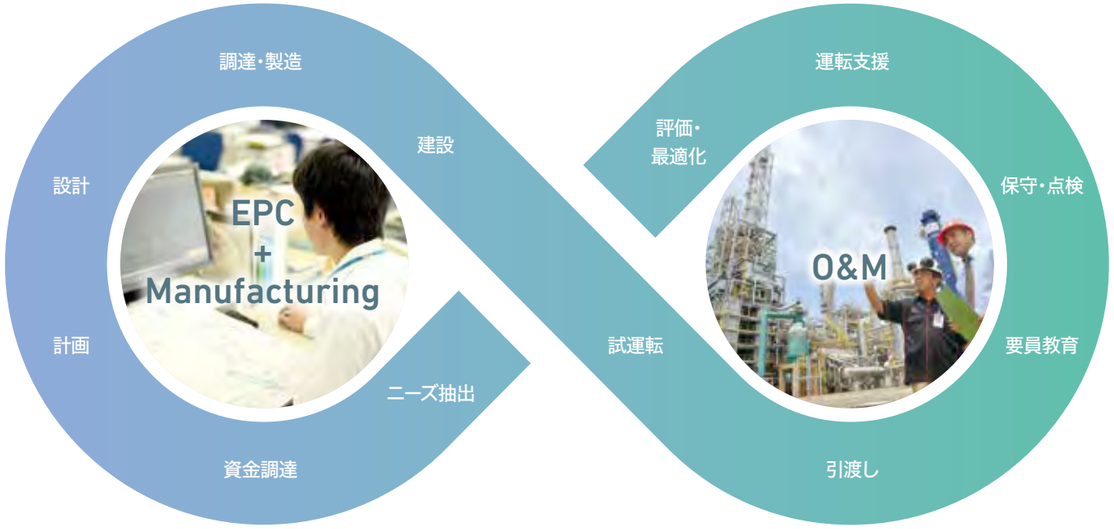
社会・顧客の課題解決と潜在ニーズに応えるため、
前例のないことに挑戦し、新たな価値を創造し、
持続的に発展する企業を目指します。

Value（価値）

〈誠　実〉融和を重んじ、常に真摯に取り組みます。
〈挑　戦〉満足することなく、迅速に挑戦します。
〈徹　底〉覚悟を決め、徹底して達成します。
〈革　新〉進化したいとの思いから飛躍し、常に進化します。

事業領域

エンジニアリング事業サイクル



EPC（Engineering, Procurement, Construction）

プロジェクトの計画段階から完成にいたるまでのすべてのフェーズにおいて、全体と細部を統合的に把握・管理するプロジェクトマネージャーの一貫した統括のもとでプロジェクト体制が敷かれており、QCD（Quality, Cost, Delivery）およびプロジェクトリスクを重点管理し、お客様の要求に対応すべく最適なプロジェクト運営を実施しています。EPCプロジェクトでの豊富な実績の中で培ったプロジェクトマネジメント力、そして、それらをまとめ上げる経験豊富な人材、優れたシステム、強力なネットワークを駆使しながら、プロジェクトリスクのタイムリーなモニタリングと早期対応化など、プロジェクト遂行能力のさらなる強化を図っています。
品質マネジメントは、客観的な立場から品質管理・検査を独立して行うシステムをとり、当社が手がけるプロジェクトの信頼性を磐石なものとしています。
また、社会・人類の持続的発展に必要不可欠な環境保全を推進すべく、HSE（Health, Safety, Environment）を経営の最重要課題の一つと位置づけ、国際的な要求・手段に則り遂行しています。

O&M（Operation & Maintenance）

プロジェクトの完成後も、LTSA（Long Term Service Agreement：長期保守契約）の提供、O&M（Operation & Maintenance：運転保守管理）の一括請負や、各種改造工事（稼働率向上、能力増強、効率改善等）の提案など、納入したプラントや交通システムがトラブルなく安全かつ効率的に稼動できるよう様々なアフターサービスを提供しています。また、IoTや遠隔監視といった最先端のテクノロジーを用いたデータ分析により、予兆診断やメンテナンスサイクルの最適化といった、お客様にさらなる付加価値を提供する新分野にも積極的に取り組んでいます。

事業投資

化学製品の製造など収益性の高い事業への投資に取り組んでいます。EPC、O&Mに豊富な知見をもつ当社が案件組成段階からプロジェクトに参画することで事業の収益性にとって最も重要な稼働率への信頼性を高めるとともに、出資者としてO&Mへより深く関与し、そこで得た知見をフィードバックすることにより、コア事業であるEPCとO&Mのさらなる強化を図ります。

交通システム

車両製造の歴史は1910年（明治43年）、鉄道院向け客車や土佐電気鉄道向け市街電車を受注した時に始まります。その後も、蒸気機関車（計244両）、電気機関車（計100両）等の鉄道車両を製造してきました。
1970年代からは、新交通システムをはじめとした様々な交通システムの開発を行い、ゴムタイヤ式新交通システム（AGT※）は、現在までに国内外で500両を超える車両を受注・納入しています。

※AGT: Automated Guideway Transit

AGT

東京ゆりかもめ

埼玉新都市交通ニューシャトル

日暮里・舎人ライナー

広島新交通アストラムライン

マカオLRT

センカン・プンゴルLRT

タンパ国際空港APM

オーランド国際空港APM

鉄道システム（高速鉄道/海外メトロ）

台湾高速鉄道

ドバイメトロ

モノレール

懸垂式モノレール

保全車両

新幹線用保全車両

エアブレーキ装置

ブレーキ制御装置

空圧キャリパー

電動空気圧縮機（オイルフリー式）

化学プラント

化学プラント事業におきましては、プラント建設のエキスパートとして1958年に最初のプラントを納めて以来、天然ガスを原料とした肥料プラント、メタノールプラント、石油化学プラントを中心として、世界を舞台に多くのプラントを納入し、お客様から高い評価を得ています。豊富な経験により培われた高い技術力とプロジェクトマネジメント力で、信頼性と安全性の高いプラントを提供し、産業インフラの幅広いニーズに応えていきます。

肥料プラント

メタノール併産アンモニア／尿素プラント（ロシア）

アンモニア／尿素プラント（マレーシア）

アンモニア／尿素プラント（オマーン）

メタノールプラント

メタノールプラント（ブルネイ）

メタノールプラント（ベネズエラ）

メタノールプラント（サウジアラビア）

石油化学プラント

スチレンブタジエンゴムプラント（シンガポール）

アクリル酸プラント（ロシア）

ポリエチレンプラント（メキシコ）

環境装置（CO_2回収プラント）

三菱重工エンジニアリング（MHIENG）はCO_2回収技術における世界のリーディングカンパニーとして、燃焼排ガスから高効率でCO_2を回収する技術を商用化しています。

関西電力株式会社と共同でCO_2回収技術（KM CDR Process™）を開発し、商用化しました。独自開発のアミン吸収液 KS-1™を用い、次のような特徴を有した本プロセスを用いたプラントは、全世界13カ所で稼働中です（2019年2月現在）。

1. 多種多様な排ガス源に対応可能
2. 省エネルギープロセス
3. 再生エネルギー・劣化の少ない吸収液

化学用途・一般用途

一般用途向けCO_2回収プラント（日本）

CO_2回収・地中貯蔵

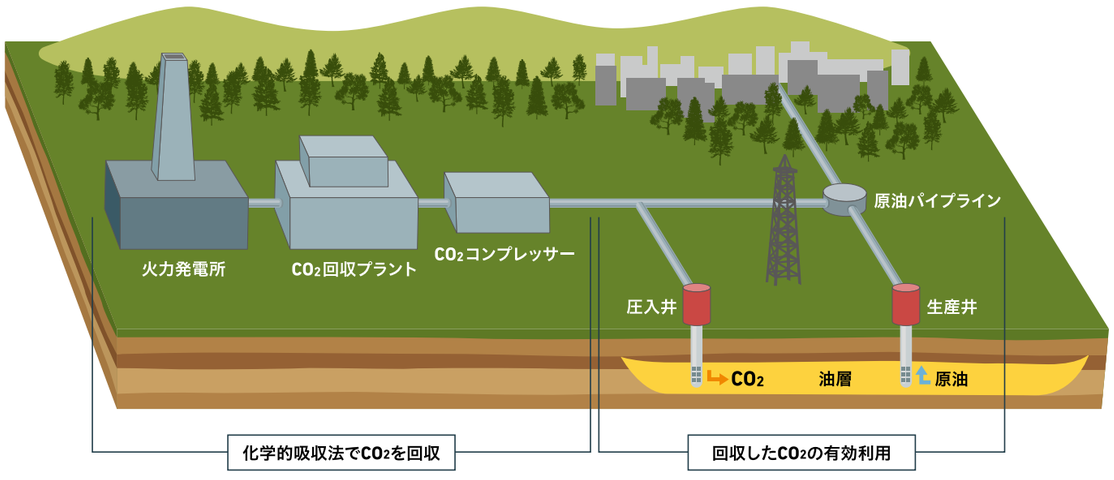
CO_2回収・貯留実証プラント（アメリカ）

原油増進回収（EOR※）

原油増進回収向けCO_2回収プラント（アメリカ）
※EOR: Enhanced Oil Recovery

原油増進回収（EOR）のしくみ

発電所などの排ガスから回収したCO_2を油田へ圧入し、原油の回収率を高めるシステムです。



アフターサービス

プロジェクトの完成後も、納入したプラントや交通システムがトラブルなく安全かつ効率的に稼動できるよう様々なアフターサービスを提供しています。従来のO&M（Operation & Maintenance：運転保守管理）サービス、各種改造工事（稼働率向上、能力増強、効率改善等）、LTSA（Long Term Service Agreement：長期保守契約）に加えて、IoTや最先端のテクノロジーを用いたデータ分析による予兆診断やメンテナンスサイクルの最適化といった、お客様にさらなる付加価値を提供する新分野にも積極的に取り組んでいます。

化学プラント・CO_2回収プラント向けアフターサービス

設備改造工事

納入したプラントの各種改造工事（稼働率向上、能力増強、効率改善等）に対応します。

コンサルティングサービス

お客様の運転上の課題に対して豊富な技術的知見によりソリューションを提供します。

Concept of “CPAS CLOUD” Solution

Chemical
Plant
Assistance
Service
＋ CLOUD

CPAS Cloudの特徴
・主要機器の運転データを継続モニタリング
・予兆察知によるトラブルを未然防止
・長期トレンド分析により設備改善提案

CPAS CLOUD ⇄ Plant Owner

MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES GROUP
→ Compressor
→ Pump
→ GTG
→ Blower / Fan
→ SSP / MCC

交通システム向けアフターサービス

O&Mサービス

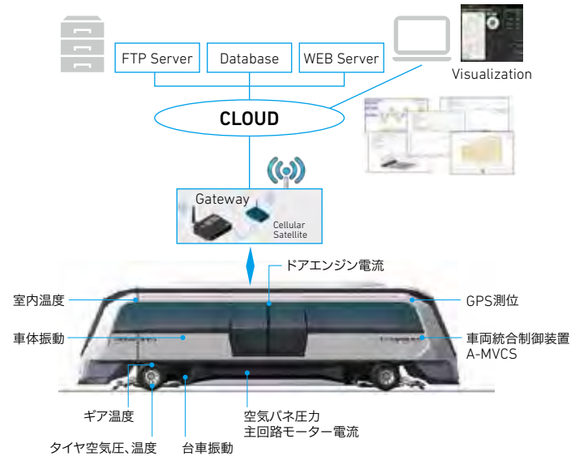
デイリーメンテナンスからオーバーホールまでシステム完成後の運転保守管理サービスを幅広く提供しています。

システム更新工事

納入したシステムの各種更新工事（増車、リハビリテーション、乗り心地改善等）に対応します。

遠隔状態監視サービス

IoTによる状態監視サービスを提供します。



総合交通システム検証施設

「MIHARA試験センター」
Multipurpose Integrated Highly-Advanced Railway Applications

日本の鉄道システムのグローバル競争力向上に寄与するため、技術開発やデモンストレーション、研修・訓練のためのプラットフォーム設備を提供します。

活用とその効果

1. 研修・訓練

海外の鉄道関係者の方が、実地に日本の鉄道システムに触れることにより日本のシステムに精通し、諸外国との相違、技術レベル等の理解を深めることができます。
実際に外国人へ教育するトレーナーの育成やトレーニングノウハウの蓄積が可能となります。

2. 技術開発・安全性評価

実運用に近い条件での実証や安全性評価により、現地実路線での試験軽減や新技術、新システムの実用化を早めることが可能となります。

3. 規格認証

海外鉄道事業者の要求仕様、適合規格に沿ったデータ取得、評価が可能となり、日本技術の輸出促進につながります。

会社概要

社　名	三菱重工エンジニアリング株式会社
英文名	Mitsubishi Heavy Industries Engineering, Ltd. (略称MHIENG)
設　立	2018年1月1日
本社所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-1三菱重工横浜ビル
事業拠点	横浜、三原
取締役社長	寺沢 賢二
事業内容	化学プラント、交通システム製品、環境製品等に関するエンジニアリング、製造、調達、建設、販売およびアフターサービスに係る事業(これに付帯関連する事業を含む)
資本金	200億円(2018年1月1日現在)
株主構成	三菱重工業株式会社 100%
ウェブサイト	https://mhieng.mhi.com/jp/

グループ会社

国内

三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社(MHIEC)

事業内容
各種環境装置、化学装置等の設計・製作・据付およびエンジニアリング、改造修理、部品販売、点検検査、技術員派遣、コンサルティング、据付・運転指導、保守管理
www.mhiec.co.jp/

三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社(MHI-TC)

事業内容
・交通システムの設計、建設、試運転、アフターサービス　・輸送機器、一般産業機械、環境化学機器、電子制御システムの開発、設計、製作、アフターサービス
・各種プラントの基本設計、詳細設計、建設、試運転、改造、保守、保全　・新規製品・試験設備の開発、設計、製作、技術支援　・土木構造物の設計、監理, 施工の請負
・工場建屋、ビル、商業施設等の計画、設計、監理、施工の請負
www.mhitc.mhi.com

MHI Executive Experts 株式会社(MHIEX)

事業内容
国内外の各種大型プラント(発電、環境、化学等)および交通システム等のEPCプロジェクト遂行に必要な技術者を派遣する労働者派遣事業およびこれに付帯する監理、コンサルティングサービスの提供

海外

※三菱重工地域統括会社

Mitsubishi Heavy Industries America, Inc. (MHIA)※

事業内容
三菱重工グループ製品に関する市場調査、PR、資材調達、組立、販売、据付およびアフターサービス等
www.mhi.com/company/regions/americas

Mitsubishi Heavy Industries EMEA, Ltd. (MHI-EMEA)※

事業内容
三菱重工製品の市場調査、PR、営業、海外調達、アフターサービス
www.mhi.com/company/regions/emea

Mitsubishi Heavy Industries Asia Pacific Pte. Ltd. (MHI-AP)※

事業内容
化学プラントおよび環境設備、ITS、水処理設備、大型冷凍機その他のグローバルな海外事業拠点。アジア・パシフィック地域内の全社事業開発およびコーポレート・シェアード・サービス拠点
www.mhi.com/company/regions/apac

MHI Engineering and Industrial Projects India Private Limited(MEIP)

事業内容
インド国内の環境・化学プラント、交通システムに関するEPCm(小型EPC)、アフターサービス、オペレーション&メンテナンスおよび三菱重工グループの設計・調達請負業務
www.mhieip.com/

Crystal Mover Services, Inc (CMS)

事業内容
三菱重工グループが納入したアメリカの空港内新交通システム(APMシステム:Automated People Mover)のオペレーション&メンテナンス業務
www.crystal-mover.com/

三菱重工エンジニアリング株式会社

事業拠点

本社（横浜）

〒220-8401
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-1
（三菱重工横浜ビル）

三原地区

［和田沖］
〒723-0042
広島県三原市和田沖町1-1

［古浜・糸崎］
〒729-0393
広島県三原市糸崎南1-1-1

https://mhieng.mhi.com/jp/

2022年4月発行